

2017.12.19：平成29年_県土整備常任委員会（第1号） 本文

○委員長（小路正和君） そのほかの案件について質疑ございませんでしょうか。
宇野委員。

○宇野 裕委員 それでは、道路問題について大きく4点伺いたいと思います。

1点目は、道路の維持管理についてであります。瀧田県議の一般質問にもありましたが、草刈りなどの道路の維持管理は歩行者の安全確保、沿道環境の保全を図る上で大変重要であると日ごろから思っております。県においては、限られた予算の中で工夫しながら進めていただいているところではありますが、県民の期待に十分に答えられている状況ではないと思われま。

そこで伺います。道路の維持管理費について、ピーク時と比べて現在の予算状況はどのようになっていますか。

○委員長（小路正和君） 平野道路環境課長。

○説明者（平野道路環境課長） 道路環境課でございます。

舗装修繕や道路維持修繕などの道路の維持管理費については、今年度、6月補正後の肉づけ予算で150億8,500万となっており、平成9年度のピーク時に比べて約36%の減少となっております。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。道路の維持管理費、ピーク時の約6割とのことでありますが、道路の除草についても、平成9年のころと比べると回数もかなり減っているように思われます。私のところにも県民の方々から多く道路の除草要望が寄せられている状況であります。現在、県の管理道路については、年に1度程度しか除草してない路線がほとんどだと聞いております。最低でも全路線、年に2回は刈る必要があると思っております。

そこで伺います。今年度の道路除草費は、必要額に対してどの程度予算措置しているのかお伺いします。

○委員長（小路正和君） 道路環境課長。

○説明者（平野道路環境課長） 道路の除草費につきましては近年増加傾向にありますが、今年度6月補正後の肉づけ予算で6億2,500万となっております。必要額を全路線で年2回刈りを実施することとした場合には約10億円程度の費用を見込んでおり、これに対する予算措置率は約6割となっております。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。必要額の6割ぐらいというような予算措置状況ということであります。2020年のオリンピックも1,000日を切ったというような状況の中、観光立県の観点からも除草を初めとする道路の維持管理は大変重要ではないかなというふうに思っております。

そこで要望であります。少なくともオリンピック前年ごろまでにはきちんと草刈りをして、観光客の皆さん、おもてなしできるような、県の道路環境を維持、つくっていただきたい、これは要望であります。

大きな質問の2点目であります。圏央道についてお伺いしたいと思います。圏央道については、先ほどの部長の御挨拶、また、きょうの新聞等々でわかったわけでありますけれども、2024年までに全線開通できるというような情報をいただきました。本当にありがたいなというふうに思っております。圏央道は言うまでもなく、環状道路としてのネットワークの効果を最大限発揮するためにも、早期の全線開通に向けて、今、この情報のとおり取り組んでいくというような状況になったところでございますので、そのような中で残る大栄―横芝間について、今年度、工事着工すると、これまでも聞いたところでございますけれども、着工すると聞いております。事業の一層の推進を期待してるところであります。私も圏央道推進議員連盟の一員として、大栄―横芝間の早期完成を期待しているところであります。

改めて伺いたいと思いますが、圏央道の、大栄―横芝間の進捗状況はどのようになっていますか。

○委員長（小路正和君） 北岡道路計画課長。

○説明者（北岡道路計画課長） 道路計画課でございます。

圏央道の進捗状況についての御質問でございますけれども、大栄一横芝間につきましては、全線にわたり用地取得が展開され、平成 29 年 3 月末の用地進捗率は約 57% となっているところでございます。また、9 月末には本区間最初となる工事が契約となっております。

そのような中、昨日、国の平成 30 年度予算大臣折衝の結果、物流ネットワークの整備による生産性向上等の加速について認められ、これに伴い、大栄ジャンクションから松尾横芝インター間につきまして、用地取得等が順調な場合、平成 36 年度供用見込みであることが国土交通省から公表されたところでございます。県としましては、一日も早い全線開通に向け、沿線市町とともに組織する用地取得促進プロジェクトチームの活動などにより、引き続き積極的に協力してまいります。

以上です。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。しっかりやっていただきたいと思いますが、ただいま本区間の最初となる工事というようなくだりがございましたけれども、答えられる範囲で結構なんですけども、その工事の箇所とか、どういう内容なのか、教えていただければありがたいと思います。

○委員長（小路正和君） 道路計画課長。

○説明者（北岡道路計画課長） 2 件の工事内容でございますけれども、工事場所につきましては、成田市川上地先と多古町五反田から水戸地先の 2 カ所となっております。また、工事内容につきましては、両工事とも地盤改良や掘削、盛り土工などとなっております。

以上です。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 それぞれの契約金額、教えていただければありがたいと思います。
——後で。わかりますか。

○委員長（小路正和君） 道路計画課長。

○説明者（北岡道路計画課長） ちょっと待ってください。

○委員長（小路正和君） では、後ほどお願いします。
宇野委員。

○宇野 裕委員 じゃ、後で教えてください。

それでは、大きな3番目の質問であります。北千葉道路について伺いたいと思います。圏央道と一緒に北千葉道路は外環道と成田空港を最短で結んで、首都圏の国際競争力を強化するというような効果もあり、また、災害時における緊急輸送道路として機能を有する重要な道路ではないかなというふうな認識を持っております。我が党といたしましては、北千葉道路建設促進議員連盟を組織して、早期全線開通の実現に向けて党を挙げて取り組んでいる状況でございます。市川—船橋間の西側区間については代表質問でも取り上げましたが、県において都市計画、環境アセスメント手続の準備が進められているところであり、着実に事業化へ向けて進んでいると実感を持ってるところでございます。速やかに手続に着手して、早期事業化に向け取り組んでいただきたいと思います。

また、事業中の印西—成田間の東側区間については、県施行の1期区間4.2キロメートルがことし2月に開通をし、千葉ニュータウン区間を合わせて約26キロメートルがつながりました。沿線地域の交流、連携の促進、物流の効率化など、さらなる地域活性化を図るためにも、残る区間の早期開通が望まれているところであります。

そこでお伺いをいたします。北千葉道路の東側区間の進捗状況はどのようになっているでしょうか。

○委員長（小路正和君） 相澤道路整備課長。

○説明者（相澤道路整備課長） 道路整備課でございます。

北千葉道路の東側区間の進捗状況についての御質問ですが、県が施行する成田市押畑から大山までの2期区間 3.7 キロメートルにつきましては、現在、用地取得率が96%となっております。用地取得と並行しまして、埋蔵文化財調査を現在進めているところでございます。工事につきましては、今年度から国道408号とJR成田線をまたぐ（仮称）土屋橋の工事に着手したところでございまして、順次、橋梁の下部工の工事を進めているところでございます。

なお、国が施行する成田市北須賀から成田市押畑までの5.6キロメートルにつきましては、現在、松崎函渠や大谷津函渠、松崎高架橋など工事が進められており、平成30年度に暫定2車線で供用をすると国から聞いております。引き続き地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら北千葉道路の事業推進に努めてまいります。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。最後の質問であります。私の地元が大きく関係をする道路問題であります。これまでも何度かお伺いをしたところであります。改めてお伺いをしたいと思っております。銚子連絡道路についてであります。銚子連絡道路は平成18年の3月に、先ほどお話しさせていただきました圏央道の松尾横芝インターチェンジから横芝光インターチェンジまでの6キロメートルが1期区間として供用をしているところであります。現在、2期区間として、横芝光インターチェンジから私の地元の匝瑳市に至る5キロメートルの整備が進められておるところであります。匝瑳市時曾根地区と笹曾根地区においては、昨年度末、ようやく事業に対する理解が得られまして、現在は用地取得に向けた準備が進められていると聞いております。引き続き地権者への丁寧な説明を行いながら早期に用地取得に着手をしていただいて、事業を着実に推進していただきたいと願うところであります。

そこでお伺いをいたします。現在の銚子連絡道路の2期区間の進捗状況はどのようになっているのでしょうか。

○委員長（小路正和君） 相澤道路整備課長。

○説明者（相澤道路整備課長） 道路整備課でございます。

銚子連絡道路2期区間の進捗状況でございますが、銚子連絡道路2期区間につきましては、圏央道へのアクセス向上や国道126号の混雑の緩和を図るため、横芝光町から匝瑳市に至る延長約5キロメートルの整備を実施しているところでございます。用地の取得状況につきましては、面積ベースで約5割となっております。

委員が御指摘ございましたが、匝瑳市時曾根地区、笹曾根地区におきましては、早期の用地取得に向け、これまで地元説明会を行い、現在、測量を実施しているところでございまして、今年度内に用地取得に着手する予定でございます。また、工事につきましては、横芝光町や匝瑳市八日市場地区などで盛り土や排水路の工事を実施しているところでございます。引き続きまして地元の皆様の御理解と御協力をいただきながら残る用地の取得を進め、事業の推進に努めてまいります。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。要望であります。圏央道も北千葉道路も銚子連絡道もその他の公共事業もそうでございますけど、用地取得というのは大変、大関門であります。これを乗り越えれば、あとはお金と建設業者さんのお力をかりて推進できるわけでありますので、ぜひ用地取得に対する人員の配備を、部長、しっかりとつけていただいて、予算と一緒に、人手のかかることですので、その辺を、人事配置もしっかりこれから見据えてやっていただきたい。これ、要望でございます。よろしく申し上げます。ありがとうございました。